

政策	施策	課題	取組	R7市民意識調査対象表	R6 カテゴリー偏差値		R6 主観データアンケート設問	偏差値	R6 客観データ測定値利用データ等		偏差値
					カテゴリー	主観指標			客観指標		
【2-1】 コミュニティの育成と地域活動の支援		地域活動の場や機会の不足 地域運営組織（まちづくり会議）の立ち上げ 自治会活動の担い手確保	市民主体のまちづくりの推進支援 コミュニティ活動の支援	○ ○ ○	地域とのつながり	71.1	52.2 同じ町内（集落）に住む人たちを信頼している 地域活動への市民参加が盛んである 町内（集落）に対して愛着を持っている	79.3 拡大家族世帯割合 55.3 既婚者割合（15歳以上人口） 65.6 高齢者単身世帯の割合 居住期間が20年以上の人口の割合 祭り開催数 自治会・町内会加入率	人口当たり政治団体の数 人口当たり宗教の事業所数 人口当たりNPO数 人口当たり都市再生推進法人・UDC数	53.7 79.4 48.2 46.1	
【2-2】 人権問題の解決		DV（ドメスティック・バイオレンス）の深刻化が問題 困難な状況に置かれている人への理解が不足 女性の社会進出が低調	相談体制の充実 人権教育・啓発研修会等の充実 男女共同参画の推進	○ ○ -	多様性と寛容性	35.8	47.1 どんな人の意見でも受け入れる雰囲気がある 女性が活躍しやすい雰囲気がある 若者が活躍しやすい雰囲気がある 町内の人自身がどう思っているかが気になさ	42.5 議会の女性議員割合 45.6 自治体の管理職の女性割合 20.0 自治体職員における障がい者の割合 多様性政策指数		32.7 56.5 46.9 51.3	
【2-3】 国際理解と多文化共生の推進		外国人市民が暮らしやすいまちづくり 国際感覚と幅広い視野を持つひとづくり 外国人が地域で共に暮らす多文化共生への取組	外国人市民の日常生活等支援 市民の国際感覚の醸成やコミュニケーション能力の向上 外国人が地域で共に暮らす多文化共生への取組	- ○ ○	多様性と寛容性	35.8	47.1 見知らぬ他者であっても信頼する	-	人口当たり外国人口	48.3	

政策	施策	課題	取組	R7市民意識調査対応表	R6 カテゴリー偏差値		R6 主観データ		R6 客観データ	
					R6 カテゴリー	主観指標	客観指標	アンケート設問	偏差値	客観指標利用データ等
3	【3-1】生涯を通じた健康づくりの推進	市民の健康意識が低い	市民の健康意識の向上	○	医療・福祉	30.2	46.7	医療機関が充実している	28.6	人口当たり国保医療費
		子どもの生活リズムの乱れが自立している	子どもの生活習慣に対する保護者の意識の底上げ							人口当たり後期高齢医療費
	【3-2】子育て支援の充実	生活習慣病の罹患率が多い	生活習慣病の重症化予防	○	健康状態	71.4	59.5	私は身体的に健康な状態である	65.4	特定健康診査率
		特定健診・がん検診受診率の向上	受診しやすい体制づくりの推進	○						健康寿命（男性）
	【3-3】生活困窮者等の自立支援	自殺率が高い	働き世代や高齢者のメンタルヘルス意識の向上	○	地域とのつながり	71.1	52.2	私は精神的に健康な状態である	77.0	健康寿命（女性）
		虐待や貧困などの支援を必要とする子ども	働き世代や高齢者のメンタルヘルス意識の向上	○						人口当たり自殺者数
3	【3-4】障がいのある人への福祉の充実	子育てに不安を抱えている保護者	子育てに不安を抱えている保護者の支援	○	子育て	33.2	46.4	子育て支援・補助が手厚い	45.9	歳出総額の教育費割合
		子どもの居場所の確保	妊婦・出産の希望がかなう環境の整備	○						合計特殊出生率
	【3-5】高齢者への福祉の充実	子どもを育てる場所や集団で外遊びできる場所の充実	情報提供・相談体制と親子が集える場所の充実	○						人口当たり児童福祉施設数
		子育てに不安を抱えている保護者	子育てに不安を抱えている保護者の支援	○						
	【3-6】地域に密着した医療サービスの提供	生活困窮者等の把握	生活困窮者自立支援制度の推進	○	医療・福祉	30.2	46.7	介護・福祉施設のサービスが受けやすい	31.2	人口当たり障害者施設数
		障がい児の障害福祉サービスの利用増	障がい児の障害福祉サービスの提供体制の整備	○						
3	【3-7】誰もが安心して暮らせるまちづくり	相談支援や障害福祉サービスの提供体制	障がい者の相談支援や障害福祉サービスの提供体制の整備	○	医療・福祉	30.2	46.7	介護・福祉施設のサービスが受けやすい	31.2	人口当たり障害者施設数
		地域移行への対応	地域移行支援の充実	○						
	【3-8】誰もが安心して暮らせるまちづくり	差別の解消や権利擁護の推進	差別の解消や権利擁護の普及啓発	○	医療・福祉	30.2	46.7	介護・福祉施設のサービスが受けやすい	31.2	人口当たり障害者施設数
		雇用の確保と就労支援体制	雇用の確保と就労支援体制の充実	○						
	【3-9】誰もが安心して暮らせるまちづくり	安定的な介護サービス提供体制の構築	介護保険サービスの充実と円滑な運営	○	医療・福祉	30.2	46.7	介護・福祉施設のサービスが受けやすい	31.2	人口当たり障害者施設数
		介護・福祉分野で働く人材の不足	介護・福祉分野で働く人材の確保	○						
3	【3-10】誰もが安心して暮らせるまちづくり	権利擁護の推進	成年後見制度の利用促進と支援体制の充実	○	医療・福祉	30.2	46.7	介護・福祉施設のサービスが受けやすい	31.2	人口当たり障害者施設数
		認知症高齢者に対する支援の周知が不十分	認知症高齢者に対する支援の充実	○						
	【3-11】誰もが安心して暮らせるまちづくり	在宅医療・介護提供体制の推進	在宅医療・介護連携の推進と普及啓発	○	医療・福祉	30.2	46.7	介護・福祉施設のサービスが受けやすい	31.2	人口当たり障害者施設数
		介護予防活動の推進	介護予防活動の推進	○						
	【3-12】誰もが安心して暮らせるまちづくり	地域活動への参加促進	社会参加の促進と介護予防の推進	○	医療・福祉	30.2	46.7	介護・福祉施設のサービスが受けやすい	31.2	人口当たり障害者施設数
		経営状況と今後の方向性の検討	経営状況と今後の方向性の検討	○						
3	【3-13】誰もが安心して暮らせるまちづくり	医師不足、人材不足	医師不足、人材の確保	○	医療・福祉	30.2	46.7	介護・福祉施設のサービスが受けやすい	31.2	人口当たり障害者施設数
		患者数の減少による経営不安	医療体制の充実と地域連携の推進	○						
	【3-14】誰もが安心して暮らせるまちづくり	在宅医療への取り組み	在宅医療の推進	○	医療・福祉	30.2	46.7	介護・福祉施設のサービスが受けやすい	31.2	人口当たり障害者施設数
		救急医療体制の整備	救急医療体制の整備	○						
	【3-15】誰もが安心して暮らせるまちづくり	経営状況と今後の方向性の検討	経営状況と今後の方向性の検討	○	医療・福祉	30.2	46.7	介護・福祉施設のサービスが受けやすい	31.2	人口当たり障害者施設数
		医師不足、人材不足	医師不足、人材の確保	○						
3	【3-16】誰もが安心して暮らせるまちづくり	患者数の減少による経営不安	医療体制の充実と地域連携の推進	○	医療・福祉	30.2	46.7	介護・福祉施設のサービスが受けやすい	31.2	人口当たり障害者施設数
		在宅医療への取り組み	在宅医療の推進	○						
	【3-17】誰もが安心して暮らせるまちづくり	救急医療体制の整備	救急医療体制の整備	○	医療・福祉	30.2	46.7	介護・福祉施設のサービスが受けやすい	31.2	人口当たり障害者施設数
		経営状況と今後の方向性の検討	経営状況と今後の方向性の検討	○						
	【3-18】誰もが安心して暮らせるまちづくり	医師不足、人材不足	医師不足、人材の確保	○	医療・福祉	30.2	46.7	介護・福祉施設のサービスが受けやすい	31.2	人口当たり障害者施設数
		患者数の減少による経営不安	医療体制の充実と地域連携の推進	○						

総合計画（政策、施策、課題、取組）とWell-being指標との相関表

【R7.9.1第4回振興計画審議会資料】

政策	施策	課題	取組	R7市民意識調査 調査対象表	R6 カテゴリー偏差値		R6 主観データ アンケート認識	R6 客観データ 測定値利用データ等	
					カテゴリー	主観指標/客観指標		偏差値	偏差値
【4-1】 商工業・海運業の振興		雇用の創出（雇用の場の確保） 創業支援体制の充実 人材育成と労働力の確保 事業継続のための資金の確保	雇いの創出（雇用の場の確保）の推進 創業支援の推進 人材育成と労働力の確保の推進 融資及び保証の制度を推進	○	買物・飲食	20.0	43.6 日増の買い物に全く不便がない	20.0 商業施設徒歩圏平均人口密度	20.0
				○			飲食を楽しむ場所が充実している	20.0 商業施設徒歩圏平均人口密度	62.0
				○	遊び・娯楽	20.0	48.0 楽しい時間を過ごせる場所（娯楽）がある	人口当たり飲食店数	46.9
				○	雇用・所得	20.0	47.5 やりたい仕事を見つけやすい	可住地面積当たり飲食店数	45.6
				○			適切な収入を得るための機会がある	人口当たり経済事業所数	48.0
								20.0 完全失業率	54.1
								20.0 若年層完全失業率	53.4
								正規雇用者比率	44.6
								高齢者有業率	41.0
								高卒者進路未定者率	63.1
【4-2】 魅力ある農林水産業の推進		農地の集積・集約化 担い手の確保と育成 農畜連携の取組推進 耕作放棄地の増加 森林等の整備 海洋環境の悪化と水産資源の減少 海への関心の希薄化 担い手の減少と経営難	地域計画のブラッシュアップ 認定新規就農者、認定農業者の確保・育成 農畜連携の取組推進 農地の活用と維持管理 森林等の整備促進 海洋環境の改善と水産資源の回復 里海づくりを基軸としたまちづくりの推進 漁業の担い手支援	○	自然の恵み	59.9	52.1 身近に自然を触れることができる	64.7 食料供給ポテンシャル	39.9
				○				木材供給ポテンシャル	43.7
				○					
				○					
				○					
				○					
				○					
				○					
				○					
				○					
【4-3】 魅力ある資源を活かした観光の推進		旅行者の受入環境の整備 日本遺産の有効活用 効果的な観光PR	旅行者の受入環境の整備・充実 周遊型、体験型観光コンテンツの造成 効果的な情報発信の工夫と強化	○					
				○					

総合計画（政策、施策、課題、取組）とWell-being指標との相関表

【R7.9.1第4回振興計画審議会資料】

政策 実行計画	施策	課題	取組	R7市民意識 調査対応表	R6 カテゴリー偏差値		R6 主観データ		R6 客観データ	
					主観指標	客観指標	アンケート説明	偏差値	測定値利用データ等	偏差値
【4-4】 既存する土地利用と良好な市街地の形成	土地区画整理事業廃止後の計画の実現 都市公園及び緑地公園の整備 立地適正化計画の実現	土地の有効活用促進 都市公園及び緑地公園の整備 立地適正化計画の実現	○	公共空間	27.0	32.6	地域の雰囲気は、自分にとって心地よい 街中や公園等々心地よく歩ける場所がある	33.2	公園緑地歩歩人口カバー率	20.0
					28.8	35.9	自慢できる都市景観がある	28.8	歩道設置率	47.9
					40.6	41.6	自慢できる自然景観がある	40.6	ウォークアブル指数	25.3
					59.9	52.1	身近に自然を感じることができる	64.7	ウォークアブル指数	37.4
					28.1	45.3	防災対策がしっかりしている	28.1	ウォークアブル指数	35.9
【4-5】 移住・定住の促進	使える空き家が不足 都市・大都市への人口流出 移住定住の後押しとなる補助制度 情報発信不足、移住者の交流不足	使える空き家の活用 大都市圏からのリターン者への支援 住宅購入・家賃補助等の支援 移住者向け情報発信	○	自然災害	71.1	52.2	同じ町内（集落）に住む人たちを信頼している	79.3	都市景観指数	41.6
					71.1	52.2	同じ町内（集落）に住む人たちを信頼している	79.3	自然景観指数	48.9
					71.1	52.2	同じ町内（集落）に住む人たちを信頼している	79.3	自然景観指数	50.0
					71.1	52.2	同じ町内（集落）に住む人たちを信頼している	79.3	自然景観指数	69.7
					71.1	52.2	同じ町内（集落）に住む人たちを信頼している	79.3	自然景観指数	40.9
【4-6】 住宅の供給と安心できる住環境の整備	空き家の有効活用と老朽空き家の除却 安価な優良宅地の創出 特定公共賃貸住宅の入居率 公営住宅の老朽化	老朽空き家の除却 新たな優良宅地の創出 特定公共賃貸住宅の入居率向上 老朽化した公営住宅の用途転止（除却）	○	住宅環境	49.5	63.1	自宅には、心地のいい居場所がある 騒音に悩まされている 適度な費用で住居を確保できる	70.3	オートキャンプ場への立地確立	59.8
					49.5	63.1	自宅には、心地のいい居場所がある 騒音に悩まされている 適度な費用で住居を確保できる	70.3	オートキャンプ場への立地確立	52.9
					49.5	63.1	自宅には、心地のいい居場所がある 騒音に悩まされている 適度な費用で住居を確保できる	70.3	オートキャンプ場への立地確立	33.2
					49.5	63.1	自宅には、心地のいい居場所がある 騒音に悩まされている 適度な費用で住居を確保できる	70.3	オートキャンプ場への立地確立	45.6
					49.5	63.1	自宅には、心地のいい居場所がある 騒音に悩まされている 適度な費用で住居を確保できる	70.3	オートキャンプ場への立地確立	66.4
【4-6】 住宅の供給と安心できる住環境の整備	空き家の有効活用と老朽空き家の除却 安価な優良宅地の創出 特定公共賃貸住宅の入居率 公営住宅の老朽化	老朽空き家の除却 新たな優良宅地の創出 特定公共賃貸住宅の入居率向上 老朽化した公営住宅の用途転止（除却）	○	事故・犯罪	49.5	63.1	自宅には、心地のいい居場所がある 騒音に悩まされている 適度な費用で住居を確保できる	70.3	専用住宅面積当たり家賃	54.8
					49.5	63.1	自宅には、心地のいい居場所がある 騒音に悩まされている 適度な費用で住居を確保できる	70.3	専用住宅面積当たり家賃	62.3
					49.5	63.1	自宅には、心地のいい居場所がある 騒音に悩まされている 適度な費用で住居を確保できる	70.3	専用住宅面積当たり家賃	68.9
					49.5	63.1	自宅には、心地のいい居場所がある 騒音に悩まされている 適度な費用で住居を確保できる	70.3	専用住宅面積当たり家賃	20.0
					49.5	63.1	自宅には、心地のいい居場所がある 騒音に悩まされている 適度な費用で住居を確保できる	70.3	専用住宅面積当たり家賃	20.0

政策	施策	課題	取組	R7市民意識調査 調査対象表	R6 カテゴリー偏差値		R6 主観データ アンケート説明	偏差値	R6 客観データ 測定値利用データ等		偏差値
					カテゴリー	主観指標	客観指標		測定値	客観データ	
5	【5-1】 防災・防犯体制の強化	災害への危機意識の地域格差 災害時要援護者の把握 消防団員数の減少と活動対策 備蓄品の確保	防災意識の醸成 災害時要援護者の把握と支援体制の確立 消防団活動の支援 災害時の備蓄品等の確保	○ ○ ○ ○	自然災害 事故・犯罪	28.1 49.5	45.3 防災対策がしつかりしている	28.1 70.3	地震動危険度 要配慮者支援 防災教育 避難・救助		53.7 47.4 42.2 53.0 59.2
5	【5-2】 河川改修・砂防施設整備	河川・砂防施設等の適正な維持管理 ため池の適正な維持管理 河川・砂防施設等の未整備箇所の整備	河川・砂防施設等の維持整備 ため池施設等の維持整備 河川・砂防施設等の未整備箇所の整備	○ ○	自然災害 自然の恵み	28.1 59.9	45.3 防災対策がしつかりしている	28.1 64.7	外水氾濫危険度 土砂災害		52.9 20.0 38.8
5	【5-3】 安全でおいしい水の安定供給	老朽化施設の更新需要の増大と財源確保 基幹管路の耐震化対策 有収率の向上 安全でおいしい水の安定供給	老朽化施設の計画的な更新と料金の適正化 基幹管路の耐震化 有収率の向上 安全でおいしい水の供給	○ - ○	自然の恵み 自然の恵み	59.9 52.1	身近に自然を触れることができる PM2.5、水質の環境基準達成率	64.7 64.7	水供給ボンプヤル		38.8
5	【5-4】 生活排水の適正処理	老朽化施設の更新 効率的・継続的な事業運営 適正な汚水処理の実施	老朽化施設、設備の更新工事の実施 下水道使用料の改定 水質化率の向上	○ ○ ○	自然災害 自然の恵み	28.1 45.3	防災対策がしつかりしている	28.1 28.1	高潮危険度 津波危険度		51.8 44.7 61.1
5	【5-5】 道路・港湾の整備	道路施設等の適正な維持管理 道路環境の整備 港湾の機能強化	道路施設等の適正な維持管理 道路環境の整備の推進 港湾・漁港の整備による機能強化	○ ○ ○	自然災害 事故・犯罪	28.1 49.5	防災対策がしつかりしている	28.1 46.8	高潮危険度 津波危険度 人口当たり交通事故件数		51.8 44.7 61.1

総合計画（政策、施策、課題、取組）とWell-being指標との相関表

【R7.9.1第4回振興計画審議会資料】

政策	施策	課題	取組	R7市産業調 査対応表	R6 カテゴリー		R6 主観データ		R6 客観データ	
					カテゴリー	主観指標/客観指標	アンケート設問	偏差値	測定値/利用データ等	偏差値
【6-1】 公共交通の確保	市営バス(便あたりの利用者数が少ない 高齢者の移動手段の確保が十分でない JRの本数が少なく不便	市営バスの利便性向上 高齢者等交通弱者に対する外出支援対策 JR利用の利便性向上	移動・交通	○	移動・交通	28.9	44.3 公共交通機関の利便性が良い	28.9	駅・バス停留所徒歩距離人口カバー率	39.0
					移動・交通	28.9	44.3 公共交通機関の利便性が良い	28.9	駅・バス停留所徒歩距離人口密度 人口当たり小売店走行キロ 通勤通学に自家用車等を用いない割合 職場までの平均通勤時間	60.6 22.4 39.6 59.7
【6-2】 廃棄物の減量化・再資源化・適正処理 の推進/畜場/畜地	廃棄物の減量化・再資源化 廃棄物の適正処理の推進 適正かつ効率的な畜場運営	廃棄物の減量化・再資源化 廃棄物の適正処理の推進 適正かつ効率的な畜場運営	環境共生	○	環境共生	48.4	49.6 リサイクル等環境への取組が進んでいる	48.4	ゴミのリサイクル率	52.0
					環境共生	48.4	49.6 リサイクル等環境への取組が進んでいる	48.4	汚染源収量 蒸発収量 地下水涵養量 土壌流出防止量 窒素除去量 リン除去量 NO2収量 SO2収量 洪水調整量 NOx年平均値 PM2.5年平均値 人口当たりCO2排出量 人口当たり再生エネルギー発電容量 環境政策指数	66.0 54.3 43.2 49.1 50.1 49.8 63.9 65.1 48.9 53.8 38.3 20.0 76.8 56.4
【6-3】 環境を大切に未来につなぐまち	抗汚水の処理 地球温暖化対策の推進 公害監視体制の強化(悪臭・騒音・振動・大気汚染)環境意識の向上と適切な苦情対応を実施 水質汚濁対策	抗汚水の処理 地球温暖化対策の推進 公害監視体制の強化(悪臭・騒音・振動・大気汚染)環境意識の向上と適切な苦情対応を実施 水質汚濁対策	自然の恵み	○	自然の恵み	59.9	52.1 身近に自然を感じることができる	64.7	汚染源収量 蒸発収量 地下水涵養量 土壌流出防止量 窒素除去量 リン除去量 NO2収量 SO2収量 洪水調整量 NOx年平均値 PM2.5年平均値 人口当たりCO2排出量 人口当たり再生エネルギー発電容量 環境政策指数	66.0 54.3 43.2 49.1 50.1 49.8 63.9 65.1 48.9 53.8 38.3 20.0 76.8 56.4
					環境共生	48.4	49.6 リサイクル等環境への取組が進んでいる	48.4	汚染源収量 蒸発収量 地下水涵養量 土壌流出防止量 窒素除去量 リン除去量 NO2収量 SO2収量 洪水調整量 NOx年平均値 PM2.5年平均値 人口当たりCO2排出量 人口当たり再生エネルギー発電容量 環境政策指数	66.0 54.3 43.2 49.1 50.1 49.8 63.9 65.1 48.9 53.8 38.3 20.0 76.8 56.4

